

かやぶ

「茅葺きフォーラム」開催 ～全国の茅活用事例と、佐渡の茅葺きの実情を知る機会に

5月25日(土)、26日(日)の二日間、(一社)日本茅葺き文化協会が主催する「第12回茅葺きフォーラム」が、佐渡を会場に開かれました。当財団が令和元年度から継続してきた、茅葺き振興の集大成として茅葺きフォーラム全国大会を佐渡に誘致したもので、全国の茅葺き職人や業者など130名以上が集いました。「トキと茅葺きの郷を目指して」というテーマのもと、島内の茅場の管理や活用を視野に入れた基盤づくりに係る関係者の機運醸成や交流が生まれました。



5月25日(土) 講演・先進事例発表・パネルディスカッション (アミューズメント佐渡) ※敬称略

「佐渡の原風景」池田哲夫 (新潟大学名誉教授)

「ヨシの保全と活用で広げる加茂湖再生の輪」

豊田光世 (新潟大学佐渡自然共生科学センター里山領域准教授)

「佐渡の茅葺きの現状について」古舘雄流 (茅葺き職人)

「茅葺き農業の実践」山田晃太郎 (やまだ農園・NPO八郷)

「広島県芸北地域における茅場の生物多様性とその再生の取り組み」

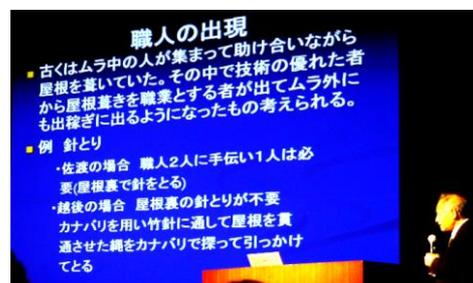
白川勝信 (登別市観光交流センターヌプル学芸員)

「茅葺き民家の活用の取り組み」

佐藤名子 (熊本県南小国町・吉原ごんべえ村「畑曆」)

「茅葺き民家の活用の取り組み」

高橋美佐子 (新潟県十日町市・「農家民宿茅屋や」)



5月26日(日) 見学会

佐渡博物館～妙宣寺～大膳神社 (真野能楽会 仕舞観賞) ～

北條家住宅見学～加茂湖湖畔見学 (佐渡島加茂湖水系再生研究所)

2日間を通し、貴重な茅葺き建造物と、トキなど多様な生物などが調和する環境を“みんなで”、どのように維持していくか考える機会となりました。



佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています。

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。

賛助会員には特典として、ニュースレターの送付をはじめ、お正月用の手作りしめ縄を予定しています。

会費は個人1口 2,000円、団体・法人1口 5,000円です。何口でもお申し込みできます。

ご賛同いただける方のご支援をお願いします。右の二次元コードから詳細をご覧ください。しめ縄は、12月に発送します！



片野尾歌舞伎保存会の定期公演が行われました

4月21日(日)、片野尾ふるさと館で「第21回片野尾歌舞伎保存会定期公演」が行われ、当財団も後援いたしました。

2年ごとに開かれてきた片野尾歌舞伎ですが、コロナ過で開催できず今回の公演は6年振りとなりました。当日は片野尾歌舞伎保存会を中心に、集落民が舞台作りをはじめ、化粧や着付けなどを担いました。

今回の演目は「絵本太功記十段目(えほんたいこうきじゅうだんめ)尼ヶ崎庵室(あまがさきあんじつ)の場」です。令和6年の年明けから台本の読み合わせを始め、2月から立ち稽古を始めたという役者たちは舞台上で堂々と演じていました。また、見得をきるたびに会場から大きな拍手が送られていました。



幼稚園で鬼太鼓体験

6月18日(火)、さわた幼稚園の園児たちが鬼太鼓を体験して楽しみました。これは園児たちが春から鬼太鼓に興味を持ち、自分たちで鬼面や提灯などを作ったり、鬼の真似をして踊ったりしていたことから、本物の鬼太鼓の体験ができないかと幼稚園と当財団が協議して実施したものです。

最初に園児は財団職員から出題された簡単なクイズに答えながら佐渡の鬼太鼓を学びました。その後、地元・河原田諏訪神社氏子会の鬼がホールに登場すると園児たちは大喜びし、鬼の舞に興味津々に鑑賞していました。続いて、太鼓を習う班、鬼の舞を習う班、鬼面を付けてみる班に分かれて、それぞれ鬼太鼓を体験しました。

園児たちは、地域によって太鼓のリズムが違うことや、実際に鬼面をつけて視界がせまくなることなどを学びました。

最後に、鬼から振り付けを習い、決めポーズを園児全員で決めて体験は終わりました。園児たちは「太鼓を叩けて面白かった。」「鬼さんと一緒に踊れて楽しかった。」と話していました。



今年も「女たちのころみ」「正法寺ろうそく能」が開催されました



佐渡の能を識る会が主催する「女たちのころみ」(6/9 金井能楽堂)と「正法寺ろうそく能」(6/28 正法寺)について、当財団も後援いたしました。

「正法寺ろうそく能」では世阿弥ゆかりの寺で、重要無形文化財総合指定保持者の観世流・松木千俊師がシテをつとめる能「半部」が演じられ、観客は幽玄の世界を感じられる演出と一流のシテ役の動きに息をのんでいました。



シテ：松木千俊師
「半部」(はじとみ)

ふるさと納税を活用した文化財保護のかたち～北鶴島の車田植

国の重要無形民俗文化財に指定されている「佐渡の車田植」ですが、田を所有する北村さんの高齢化や後継者不足で存続が危ぶまれています。

当財団や関係機関では、これら一連の活動を応援する手段として、“ふるさと納税”を活用した文化財を支援する活動を行っています。寄付額は水田の保全活動のほか、伝統継承のための活動に活用させていただきます。ふるさと納税を通して文化財保護・伝統継承へとつなげてゆく所存です。島外にお住まいの方はどうぞご検討ください。



取扱いは右の二次元コード先の「佐渡市ふるさと納税特設サイト」でご紹介しています。佐渡産品紹介の「佐渡米」から「車田植」でご検索下さい。

【返礼品】：車田植コシヒカリ3kg、お礼状、北村さん手刈り稲穂、寄付者限定メッセージ動画など

佐渡市ふるさと納税
特設サイト



佐渡芸能の担い手発掘につなげるワークショップ&公演イベント

『佐渡芸能と伝統食に触れてみる一日』を開催します～クラウドファンディングにご支援ください～

佐渡芸能に取り組む方々から技術を学ぶ、
芸能ワークショップと公演イベント
触れてみる一日
佐渡芸能と伝統食に

春日鬼組

佐渡文化財団HP

当財団は新事業として、ワークショップ&公演イベント「佐渡芸能と伝統食に触れてみる一日」を9月7日(土)に開催します。

一日で鬼太鼓(春日鬼組、研智会)、民謡(なぎさ会・金子芳延会)、文弥人形(常盤座)の演者から技を直接教えてもらえる、他にはない機会です。身体を動かして佐渡芸能の魅力を知っていただき、芸能の担い手につながる事業にいたします。また無料公演やイカ汁限定150食の振舞いを予定しています。

この事業ではクラウドファンディングで開催運営へのご援助を募っています。頂いたご支援は運営費に全て充てさせていただきます。皆様からのお力添えを何卒お願いいたします。詳細は左の二次元コード先の佐渡文化財団HPやチラシをご覧ください。

日時：令和6年9月7日(土)

場所：あいぽーと佐渡(佐渡市両津夷384-11)

内容：芸能ワークショップ 09:30～16:05(有料・要事前申込)

芸能公演 10:30～13:35(無料)

イカ汁無料提供 12:00～(なくなり次第終了)

料金：ワークショップお一人2,500円

子ども(小学生以上)・大人同じ料金です。

さどの島銀河芸術祭2024に参画しています

佐渡民謡体験～
集落で七浦甚句

旅館金沢屋で
お座敷遊び

新町大神宮で真明座の
文弥人形芝居

8月11日～11月10日にかけて島内で開催される「さどの島銀河芸術祭2024」の事業に、当財団役職員も実行委員として加わり、民謡、人形芝居の企画に関わります。詳細は下記二次元コード先の芸術祭HPをご覧ください。

さどの島
銀河芸術祭2024



島内の保存会や文化団体に関する調査事業を行っています

当財団では、鬼太鼓の保存会をはじめ、文化芸能団体の活動を把握するために取材・調査を続けています。コロナ前から開催が不透明になっている各お祭りの状況、団体の所属人数、行事の変化の有無、困っていることなど、当事者から直接お話を伺いながら佐渡全体の祭りや芸能の実施状況をまとめています。

令和6年上半期の主な動きとしては、小木地区小比叡集落の小比叡神社「田遊び神事」と畑野地区大久保集落の白山神社「田遊び神事」が行われず、島内で実施した田遊び神事は、羽茂地区下川茂集落の五所神社「御田植神事」のみでした。

一方で、復活する芸能団体の動きもありました。沢根町の白山神社を拠点とする「白桜会」は鬼の担い手不在に悩まされてきましたが今年は赤鬼・黒鬼二匹そろって鬼太鼓の奉納を行いました。門付けはありませんでしたが集落の各地区に立てられた幟付近で舞うかたちになりました。

他にも外海府にある小田集落の夷神社祭礼で20年ぶりに「棒ふり」（棒術）の芸が奉納されました。羽茂地区から芸能経験豊富な方々が参加し復活できたという側面がありました。



【取材メモ】

①白桜会は昔、豆まき型だったものを渦上型鬼太鼓に変えました。豆まき型の名残が結界をバチで切落す場面に残ります。

②20年ぶりに復活した「棒ふり」があることで、武術が取り入れられた儀式の多い外海府の祭りの特徴が見れました。

③令和3年の二宮神社火災で東二宮・西二宮・市野沢の太鼓が焼失し、今年も鬼太鼓の門付けはありませんでした。他方で神社敷地内には「伝統文化と環境福祉の専門学校」卒業生が製作した小型社殿が寄贈され、在校生製作の覆い屋も製作が進んでおり、7月末に完成予定とのことでした。

下半期も取材・調査を進めていきます。

R6年度上半期

保存会・文化団体取材事例

- 2/07 五所神社御田植神事
- 4/01 杉若会
瓜生屋子供会
- 4/03 一宮鬼太鼓保存会
- 4/07 真光寺青年会
河内若手
- 4/08 西山田青年団
乙和会
- 4/11 大倉大祭保存会
- 4/13 南片辺御太鼓若衆
大野青年会
西野青年会
- 4/14 白桜会
- 4/15 夷神社例祭
柿野浦鬼太鼓保存会
千本鬼太鼓保存会
北立島鬼太鼓保存会
石花鬼太鼓保存会
長畝鬼太鼓保存会
内巻鬼太鼓保存会
研智会
後山宮青年会
- 4/20 北川内祭り保存会
- 4/23 片野尾歌舞伎保存会
- 4/27 河原田諏訪神社氏子会
- 4/29 椿鬼太鼓
住吉うしお会
- 5/22 両津湊木遣保存会
- 6/08 若一王子神社伝統舞保存会
- 6/21 二見青年団

文弥人形「常盤座」で3人の新人が加入！



左から稽古中のグレッコさん、石川さん、松倉さん



公演本番の様子

文弥人形「常盤座」にジョセフ・グレッコ2世さん、石川奏重さん、松倉麻美子さんの3名の若手が加わりました。6月9日に開かれた芸能企画「女たちのころみ」では、130名の観客を前に『ひらがな盛衰記・栗津ヶ原巴奮戦の場』を堂々と演じる様子がありました。

役を演じ切った松倉さんに文弥人形の楽しい点を伺うと「少しの動きで人形の表情が変わるので、演じる人によってまるで別人のように見えてるところです」とのこと。また「自分でなく人形を遣う、人形らしく動かす、という点が難しい」、「これからも頑張りたいと思います。」と述べていました。